

2027-2028 年度

同志社大学外国協定大学

派遣留学生制度募集要項

	学内語学能力試験 受験申請受付期間	WEB 出願	書類出願
申請方法	Forms (WEB リンク) ※	“Go Global”ポートフォリオ	国際課窓口 or 郵送
A 日程	5 月 11 日 (月) 9:00:00 ～ 5 月 13 日 (水) 11:00:00	6 月 1 日 (月) 9:00:00 ～ 6 月 3 日 (水) 11:00:00	6 月 8 日 (月) 9:00:00 ～ 6 月 9 日 (火) 17:00:00
B 日程	10 月 13 日 (火) 9:00:00 ～ 10 月 15 日 (木) 11:00:00	10 月 30 日 (金) 9:00:00 ～ 11 月 4 日 (水) 11:00:00	11 月 10 日 (火) 9:00:00 ～ 11 月 12 日 (木) 17:00:00

出願期間

学内語学能力試験は、英語以外の初修外国語で出願する学生のうち一部の学生が対象となる（詳細は、P.29～参照）。「書類出願」受付時間は、9:00～11:30、12:30～17:00 とする。土・日・祝日・大学休日は受付しない。窓口での書類出願を希望する場合、各日程の書類出願期間中に国際課窓口にて書類一式を提出すること。郵送での書類出願を希望する場合、各日程の最終日までに必着するよう手配すること（レターパックや簡易書留など発送記録が残る方法で郵送すること）。なお書類出願期間より先に郵送手配しても構わない。

※学内語学能力試験 受験申請用 Forms

【A 日程】 <https://forms.office.com/r/vCcckhjtLM>

【B 日程】 <https://forms.office.com/r/kbBGzq9BUx>



A 日程用 Forms



B 日程用 Forms

募集日程ごとの対象大学について

【A 日程】 留学期間が翌年 2～3 月に開始する大学（オセアニア・南米・韓国等）

【B 日程】 留学期間が翌年 8～10 月に開始する大学（北中米・ヨーロッパ・アジア等）

注意

1. 本要項は、全学部・研究科所属学生対象の「外国協定大学派遣留学生制度」の日本語版の要項である。ILA・GS・ISTC・GBMS 所属の学生で、英語で学位を取得するプログラムに在籍中の学生は、英語版の要項を確認すること。なお、各学部・研究科所属学生のみが対象の「学部・研究科間協定による派遣留学制度」については、所属学部・研究科に問い合わせること。
2. 出願には WEB 出願および書類出願の両方が必要。どちらか一方のみでは出願と認められない。
3. 初修外国語（英語以外）で出願を希望する場合は、校内語学能力試験の受験が必須となる言語があるため留意すること。詳細は P.29～を確認のうえ、受験を希望する場合は、校内語学能力試験受験申請受付期間に申請する必要がある。申請期間を超えた場合、受験は認められない。また、一部言語については、外部語学能力試験の受験が必須となるため、計画的に受験すること。
4. 韓国の大学は A 日程で募集するが、同年度の B 日程でも一部の大学において、募集を行うことがある。

問合せ先／書類提出先

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学 国際課

（今出川校地：扶桑館 1 階／京田辺校地：嗣業館 1 階）

開室時間 9:00～11:30、12:30～17:00 （土・日・祝日・大学休日は閉室）

TEL 075-251-3260 E-mail ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp

目次

派遣留学の概要	5
派遣留学とは	
派遣留学の目的	
国際課 HP（外国協定大学派遣留学生制度）	
海外留学ロードマップ	
出願の制約	6
変更・キャンセル	
在籍・修得済み単位による制限	
学部1年次生・転入・編入学生の出願	
大学院1年目での留学出発希望者	
飛び入学／早期卒業	
転入学・編入学・転学部・転学科	
留学生の出願	
日本国籍以外または複数国籍所持者の出願	
在学中に留学できる期間の制限	
出願先大学の選択・出願資格	8
出願先大学の情報収集	
出願可能なコース	
大学の併願／希望順位	
AKP 加盟校枠	
KCJS 加盟校枠	
学費負担型	
ブリッジプログラム	
複数のプログラムがある大学	
留学期間	
募集人数	
対象者	
出願資格	
大学院課程への出願	
留学先大学における合理的配慮	
健康診断	
その他	
留学費用・奨学金	14
派遣留学先大学の学費（Tuition Fee）	
派遣留学先大学の学費以外の費用	
同志社大学の学費について	
費用に関するその他注意事項	
奨学金	
履修計画・単位認定等	15
留学期間の同志社大学在学期間について	
休学・卒業・進学・退学	
履修計画・卒業計画	

継続履修（履修科目継続願）
免許・資格課程
派遣留学先大学での履修
派遣留学先大学での学位取得・派遣留学先大学への編入
単位認定
卒業後の進路／就職活動

出願方法 17

出願の概要
WEB 出願について
書類出願について
願書（基本情報・出願情報・確認事項）
志望理由書
誓約書
推薦状
成績証明書
語学能力証明書、学内語学能力試験結果表

選考方法・選考スケジュール 22

派遣留学候補者の選考方法
GPA 測定値
語学能力測定値
面接評価測定値
所属学部・研究科による派遣留学への推薦可否の判断
選考スケジュール
学内語学能力試験
国際センター面接
候補者発表
追加候補者の選定

学内選考合格後（候補者決定後） 25

候補者決定後の注意
候補者説明会・出発前危機管理オリエンテーション
派遣留学先大学への正式出願（本出願）
査証（ビザ）・住居の手配
派遣留学・国際交流の活性化への協力
書類・報告書の提出、本学からの指示・指導
留学後の語学スコア提出
海外旅行保険
危機管理

語学スコア換算表 27

WEB 出願マニュアル 33

派遣留学の概要

派遣留学とは

派遣留学とは、同志社大学が外国の大学と締結した学生交換協定に基づき、同志社大学の代表として協定校に留学する制度である。学生交換協定に基づくため、交換留学とも言う。個人の留学ではなく、大学間の協定による留学のため、同志社大学および派遣留学先大学双方の規定や指導に従うことが求められる。また、留学中は派遣留学先大学での学業に専念することが求められる。

なお、学内出願で選択した期間により、出願年度の人数枠が確定するため、学内出願後の留学期間の短縮・延長は認められない。

派遣留学の目的

1. 専門知識や関心のある学問分野の知識を、外国の大学で深めること。
2. 異文化や異なる価値観に対する理解を深め、国際感覚を身につけること。
3. 自己や自国についての理解を深め、視野を拡大すること。

※ 語学力の向上は主たる目的ではない。

国際課 HP（外国協定大学派遣留学生制度）



本要項の情報は、2026 年 4 月現在のものである。

内容に追加・変更の可能性があるため、必ず最新情報を確認すること。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/exchange_program/exchange_program.html

国際課 HP > 留学プログラム > 派遣留学（大学間協定）

海外留学ロードマップ



海外留学ロードマップ 2026

<https://international.doshisha.ac.jp/oia/publications/manual.html>

国際課 HP > 刊行物 > 海外留学ロードマップ

必ず出願前に最新版の「海外留学ロードマップ 2026」を熟読すること。特に、「同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規」、「外国の大学に留学する学生の取扱に関する内規」を熟読すること。

出願の制約

変更・キャンセル

出願後の変更(留学期間や出願大学等)・辞退はできない。派遣留学制度について理解し、履修計画、卒業計画、卒業後の進路等をあらかじめしっかりと考えて出願すること。

在籍・修得済み単位による制限

学部生は、学内候補者に決定した学期(※)末時点で同志社大学において2セメスターを修了且つ30単位以上を修得している必要がある(協定校によっては、4セメスター以上修了している必要がある)。

※2027-2028 年度 A 日程の学内候補生：2026 年度春学期

2027-2028 年度 B 日程の学内候補生：2026 年度秋学期

学部1年次生・転入・編入学生の出願

春学期入学の学部1年次生： 入学年度の A 日程は出願不可

秋学期入学の学部1年次生： 入学年度の B 日程は出願不可

他の教育機関からの学部転入学・編入学生： 転入学・編入学した年度の A 日程は出願不可
(秋入学の場合、転入学・編入学した年度の B 日程は出願不可)

大学院1年目での留学出発希望者

大学院1年目での留学を希望している者(学部から大学院への進学予定者、博士課程前期課程から博士課程後期課程への進学予定者)は、以下の条件をすべて満たす場合に限り出願することができる。ただし、出願前に**必ず国際課に相談すること。**

- 出願時に本学大学院に合格していること。
(ただし、出願時に本学大学院に出願中の場合、出願締切日時点で仮受付とし、入試に合格した場合に正式受付とする。)
- 派遣留学先は大学院生が出願可能な大学であること。
- 入学予定の研究科より、大学院1年目で留学することの承認を得ていること。

以下の場合には出願できないので注意すること。

- 派遣留学出願時に本学大学院の入試に未出願の場合
- 派遣留学出願時に本学に在籍していない場合
- 留学期間中に進学する場合

飛び入学／早期卒業

以下に該当する場合は、出願前に国際課に相談すること。学士号取得を大学院課程への出願要件としている協定校がある。

- 飛び入学で大学院に入学した場合
- 留学前に、飛び入学または早期卒業の制度によって大学院に入学する予定である場合

転入学・編入学・転学部・転学科

以下に該当する場合は、出願前に国際課に相談すること。

- 他の教育機関からの転入学・編入学で同志社大学に入学した場合
- 転学部・転学科をした、またはする予定がある場合
- 学内出願後に所属学部・研究科が変更する可能性がある場合は、出願前に転学元、転学先学部・研究科窓口に、今後の履修計画について相談すること（４年での卒業が難しくなるケースもあるため、慎重に判断すること）。

留学生の出願

本学の正規留学生（外国籍の学生で同志社大学に正規の留学生として入学した学生等）であっても原則として派遣留学に出願することができる。例外として、受給している奨学金によっては出願できない場合がある（国費外国人留学生制度・あしなが奨学金等）。必ず出願前に留学生課に相談すること。

日本国籍以外または複数国籍所持者の出願

協定校によっては、特定の国籍を持つ学生を派遣留学生として受け入れないことがある。そのため、日本国籍以外または複数国籍（日本とアメリカなど）を所有している学生は、必ず出願前にプログラムリスト（本要項 P.8 参照）、また留学に必要な査証（ビザ）取得の要件を自身で確認すること。

在学中に留学できる期間の制限

派遣留学を含め、「本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、または研究指導を受ける」留学については、在学中に留学できる期間は、１年以内に限られる。

そのため、上記に該当する留学期間が、今回出願の派遣留学期間を含めて通算１年を超える可能性がある場合は、必ず出願前に国際課に相談すること。

【対象となる留学例】

- 外国協定大学派遣留学生制度による留学
- 学部・研究科間協定による派遣留学生制度による留学
- 大学認定による留学（認定留学）
- ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム

出願先大学の選択・出願資格

出願先大学の情報収集

出願前に、協定校についてしっかりと調べ出願先大学を選択すること。必ずプログラムリストおよび協定校 info を確認すること。WEB 出願後は出願先大学や希望順位、留学期間を変更することはできない。

プログラムリストおよび協定校 info の情報は変更される可能性があるため、必ず最新情報を確認すること。各日程の WEB 出願開始までに確定情報に更新される。



プログラムリスト：

出願資格・条件について確認すること。

<https://sso.doshisha.ac.jp/cgi-bin/portal.cgi>

Web シングルサインオン > Go Global ポートフォリオ > 派遣留学プログラム
> プログラムリスト



協定校 info：

履修制限・条件、費用、住居、奨学金、オリエンテーション等について確認すること。過去に留学した派遣留學生の報告書も閲覧可能。

<https://sso.doshisha.ac.jp/cgi-bin/portal.cgi>

Web シングルサインオン > Go Global ポートフォリオ > 派遣留学プログラム
> 協定校 info

※ 上記以外の情報を知りたい場合でも、まずは国際課に相談すること。派遣留学先大学から入学許可を得るまで直接連絡を取ることはできない。必要に応じて国際課が代わりに協定校に質問する等の対応を行う。

出願可能なコース

派遣留学は派遣留学先大学の正課科目（学部または大学院科目）を受講することを目的としている制度であり、語学コースの受講を目的とした留学ではない。そのため、派遣留学先大学において学部・研究科が提供する正課科目を受講することが必須である。ただし、派遣留学先大学によっては語学の科目を設置している場合があり、それらの科目を補完的に受講することは構わない。

大学の併願／希望順位

一度の出願で7大学（第7希望）まで併願することが可能。ただし、同じ出願先大学に異なる言語で出願することはできない（異なる出願先であれば、複数の言語で出願可能）。

【併願可能例】

第1希望：ボローニャ大学（イタリア語）

第2希望：ローマ大学（英語）

～

第7希望：トリノ大学（英語）

【併願不可例】

第1希望：香港中文大学（英語出願）

第2希望：香港中文大学（中国語出願）

～

第7希望：トリノ大学（英語）

※第7希望まで全て記入した学生が不合格となった際、出願要件を満たしている他の協定校の派遣枠が空いており、当該大学への出願期間までに十分な余裕がある場合は、留学希望を聞き取った後、WEB・書類出願で記入した協定校以外の協定校で追加候補者とすることがある。詳細は p.24 を参照すること。

AKP 加盟校枠

プログラムリストに「AKP-General」、「AKP-Individual」と記載されている大学を AKP 加盟校という。出願要件を満たしている場合 AKP-General から1校、AKP-Individual から1校ずつ併願することが可能。学内選考後の派遣留学候補者決定後に、AKP 加盟校内の他大学への留学を推奨される場合や AKP 加盟校での受入を断られる場合がある。派遣留学候補者決定後も、留学開始まで出願要件の GPA や語学力を保持するよう努めること。AKP 加盟校での受入を断られた場合は、派遣留学候補者としての資格を失う。

【AKP 加盟校枠の出願例】

- 第1希望：ウィットマン大学[AKP-General]
- 第2希望：スミス大学[AKP-Individual]
- 第3希望：カラマズ大学

KCJS 加盟校枠

プログラムリストに「KCJS」と記載されている大学を KCJS 加盟校という。KCJS 加盟校枠は、併願可能な7大学のうちの1大学として扱う。さらに出願要件を満たしている場合、KCJS 加盟校枠内で、すべてを出願することが可能。KCJS 加盟校については、学内選考後の派遣留学候補者決定後に、KCJS 所長による面接（基本的に英語を使用）が実施される。本面接において出願者が留学を希望している大学に出願するにふさわしいかが判断され、希望する履修・研究分野等を考慮して派遣留学先大学が決定される。また、面接の結果、KCJS 所長または出願先大学より、KCJS 加盟校内の他大学への留学を推奨される場合や、KCJS 加盟校での受入を断られる場合がある。KCJS 加盟校での受入を断られた場合は、派遣留学候補者としての資格を失う。

【KCJS 加盟校枠の出願例】

- 第1希望：KCJS 加盟校
- 第2希望：ハワイ大学マノア校
- 第3希望：カラマズ大学

*KCJS 加盟校内の出願希望校に関しては、WEB 出願で記入する志望理由書に記載すること。

学費負担型

プログラムリストに【学費負担型】と記載されているプログラムは、派遣留学先大学の学費（Tuition Fee）を負担する必要がある。協定校によっては、「学費を負担する必要のない通常のプログラム」と「学費を負担する必要がある【学費負担型】のプログラム」の両方を設けている場合がある。通常のプログラムと【学費負担型】のプログラムは独立して扱うため、両方に出願するこ

とも、どちらか一方のみに出願することも可能。各プログラムは、併願可能な7大学のうちの1大学として扱う。

これは、通常の派遣留学枠がない、もしくは少ない協定校について、学費（Tuition Fee）を負担することで留学することができる枠を特別に設けたものである。出願学生には、学費（Tuition Fee）の負担はあるものの、通常の枠外でより多くの応募機会を得ることができるだけでなく、個人手配と比較して、派遣留学奨学金への出願ができる、派遣留学先大学の学費の減免が受けられる可能性がある等のメリットがある。

【学費負担型の出願例】

第1希望：ウェスタンミシガン大学

第2希望：ウェスタンミシガン大学【学費負担型】

第3希望：ハワイ大学ヒロ校【学費負担型】

ブリッジプログラム

プログラムリストに【ブリッジプログラム】と記載されているプログラムは、1セメスター目に大学附属語学学校などで語学力向上のための授業を受け、2セメスター目から派遣留学生として学部の授業を履修するプログラムである。通常のプログラムと【ブリッジプログラム】は独立して扱うため、両方に出願することも、どちらか一方のみに出願することも可能。各プログラムは、併願可能な7大学のうちの1大学として扱う。

これは、比較的高い語学要件を求められる協定校について、留学の前半に語学プログラムを受けることで語学力向上をさせた後、通常の派遣留学生として留学することができる枠を特別に設けたものである。出願学生には、前半の語学プログラム部分の学費負担はあるものの、世界トップレベルの協定校へ派遣留学ができる機会となる。また、個人手配と比較して派遣留学先大学での語学プログラム部分の学費の減免が受けられる可能性があることや、派遣留学奨学金に出願できる等のメリットがある。

【ブリッジプログラム対象大学】

- ニュー・サウス・ウェールズ大学

【ブリッジプログラムに関する注意点】

- 1セメスター目の語学プログラムの学費は個人負担、2セメスター目の学部の授業に対する学費は免除される。
- 2セメスター目から学部の授業を履修するためには、1セメスター目終了後、語学力が向上したことを証明する必要がある。大学によっては、外部語学試験のスコア提出を求められる場合がある。
- 1セメスター目の語学プログラム終了後、学部の授業を履修するまでの語学力向上が認められなかった場合は1セメスターで修了し帰国するか、2セメスター目も継続して語学プログラムを受講するかを選択する必要がある。ただし、2セメスター目も継続して語学プログラムを受講する場合の学費は、1セメスター目と同様に個人負担となるため留意すること。
- ブリッジプログラムへの出願を考えている場合は、国際課に相談すること。
- 語学プログラム分の単位認定については所属学部・研究科に相談すること。

【ブリッジプログラムの出願例】

第1希望：ニュー・サウス・ウェールズ大学【ブリッジプログラム】

第2希望：ディーキン大学

第3希望：ウーロンゴン大学

複数のプログラムがある大学

同一大学に複数のプログラムがある場合があるため注意すること。

【複数プログラムがある大学例】

スミス大学：「スミス大学[AKP-General]」と「スミス大学[AKP-Individual]」

スタンフォード大学：「スタンフォード大学[KCJS]」と「スタンフォード大学」

ウェスタンミシガン大学：「ウェスタンミシガン大学【学費負担型】」と「ウェスタンミシガン大学」

留学期間

留学期間は、派遣留学先大学により異なり、1年間もしくは1セメスター（本学の春学期または秋学期に相当する期間）から選択できる。プログラムリスト記載の期間以外は選択できない。WEB 出願後は留学期間の変更（延長・短縮等）はできない。留学期間終了後は、速やかに帰国することが求められる。事前語学研修など留学期間外の行動に関しては、あらかじめ国際課や所属学部・研究科窓口への相談が必要。そのうえで、事前語学研修等に参加する場合は、自己責任で行うこと。

第1希望の大学に対して1年間と1セメスターの両方を希望した場合、第2希望以降の大学に1年間の枠が余っていても、第1希望大学の1セメスターが優先される。1年間の留学を強く希望する場合は、希望する留学期間を1年間のみにすること。なお、同じ大学において異なる留学期間を記載する場合、希望順位を分けて書くことはできない。

【出願例】

第1希望大学：ウェスタンミシガン大学（第1希望：1年間、第2希望：1セメスター）

第2希望大学：カラマズ大学（第1希望：1年間）

第3希望大学：ハワイ大学マノア校（第1希望：1年間、第2希望：1セメスター）

【出願不可の例】

第1希望 ウェスタンミシガン大学（第1希望：1年間）

第2希望 カラマズ大学（第1希望：1年間）

第3希望 ウェスタンミシガン大学（第1希望：1セメスター）

【参考】

留学期間は、派遣留学先大学の学年暦および本学の学年暦をもとに本学が定める期間。原則として、派遣留学先大学のオリエンテーションまたは授業開始日を含む月の初日から試験終了日を含む月の末日。本学が在学留学を正式に承認する期間は、派遣留学先大学からの入学許可書到着後に確定する。最終承認される留学期間はプログラムリストに記載のものと異なる場合がある。

募集人数

募集人数は、協定や交換状況によって決定される。プログラムリストの募集人数は、1名が1年間留学する場合を「1」、1名が1セメスター留学する場合を「0.5」として計算・記載している。

対象者

対象者（学部生・大学院生）は協定校によって異なる。必ずプログラムリストで確認すること。プログラムリスト記載の出発時の修了済みセメスター数については、休学した期間は修了済みセメスター数に算入されない。また、修得単位数が足りない場合は、在学留学許可が取り消される。

出願資格

学内出願を行うための最低基準に加えて、派遣留学先大学ごとに、GPA、語学能力をはじめ、出願要件が定められている。出願資格は、学内出願時、派遣留学先大学への出願時および留学開始時に、すべての要件を満たしている必要がある。出願資格を満たしていない場合、学内候補者であっても派遣留学先大学への出願はできない。

出願資格は、協定校の都合により変更になる場合があるため、出願前には最新情報をプログラムリストで確認すること。また出願後でも、派遣留学先大学の受入れ条件に変更が生じる可能性もあるため、その場合は国際課より連絡をする。出願者においては、留学開始まで語学能力や GPA は常に向上させるよう努めること。留学開始前に、派遣留学先大学の要件を下回った場合、協定校から受入許可が下りないことがあるので注意すること。

また本学の基準として、学部生は学内候補生に決定した学期（※）末時点で同志社大学において2セメスターを修了且つ30単位以上を修得している必要がある。協定校からの受入許可が下りた場合でも、当該基準を満たさない場合は留学に行くことはできない。

※2027-2028 年度 A 日程の学内候補生：2026 年度春学期

2027-2028 年度 B 日程の学内候補生：2026 年度秋学期

● GPA

GPA は、出願時点の累積 GPA が採用される。学内出願を行うための最低基準は、GPA2.00/4.00 以上（大学院生は 2.50/4.50 以上）。以下のように成績証明書が発行できない、GPA がない場合は、事前に国際課に相談すること。

- 博士前期課程1年次のA日程での出願
- 博士課程後期課程学生の場合
- 転学部・編入学、転学部・転学科した学生の場合

● 語学要件

学内出願を行うための最低基準として、英語出願の場合は、TOEFL ITP®500 点以上、TOEFL iBT®（旧）60 点・（新）4 以上、IELTS™ 5.5 以上のいずれか、初修外国語での出願の場合は、CEFR A2 以上が必要。複数の言語（英語またはコリア語等）で出願できる大学に出願する場合

は、必ずどちらかの言語を選択すること。原則として、派遣留学先大学には選択した言語で出願する。

【英語による出願の場合】

WEB 出願および書類出願時にプログラムリストの語学要件を満たす有効期限内の証明書の提出が必要。また、派遣留学先大学への本出願時および留学開始時にも語学要件を満たす有効な証明書が必要となる。

【英語以外の言語（初修外国語）による出願の場合】

以下のいずれかを選択して出願すること。

- WEB 出願および書類出願時にプログラムリストの語学要件（CEFR）を満たしている場合、プログラムリストの語学要件（CEFR）を満たす外部語学能力試験の証明書を提出。ただし、出願する言語によっては、外部語学能力試験の証明書を提出する場合であっても、学内語学能力試験を受験する必要がある。詳細は語学スコア換算表（P.29～）を参照すること。学内語学能力試験を受験する場合には、学内語学能力試験受験申請受付期間に申請し、受験すること。
- WEB 出願および書類出願時にプログラムリストの語学要件（CEFR）を満たしていない場合、学内語学能力試験受験申請受付期間に申請したうえ、学内語学能力試験を受験すること（言語によっては、外部語学能力試験の受験が必須となるため留意すること）。

【注意】

- 利用可能な外部語学能力試験は、語学スコア換算表（P.29～）に記載の試験のみ。
- WEB 出願および書類出願時に有効期限内の語学能力証明書の提出が必要。
- 派遣留学先大学への本出願時および留学開始時にも、必要な語学要件を満たす有効期限内の語学能力証明書が必要。留学開始までに有効期限が切れる場合は、速やかに語学能力試験を受験し、証明書を取得すること。
- 学内選考に合格した場合についても、派遣留学先大学から語学力が足りないと判断された場合、派遣留学先大学から入学が認められない、留学先で有料の語学研修を受講することが義務付けられる場合がある。
- 派遣留学先大学で所属する学部や履修する科目によっては、プログラムリストに掲載されている出願要件以上の語学能力が求められることがある。科目履修等の詳細は、協定校 info を参照すること。
- いずれの言語での出願においても、留学先の情報収集、本出願書類の準備、渡航前・現地での手続き等を行うための英語の運用能力は必須となる。
- CEFR については本要項 P.32 を参照のこと。

大学院課程への出願

派遣留学先大学の大学院課程へ出願を希望する場合、出願する際に特に問題がないか確認するため、必ず出願前に余裕を持って国際課に相談すること。以下に該当する大学もあるため、必ずプログラムリストと協定校 info を確認すること。

- 大学院生であっても受講可能な科目が学部生の科目に限られる大学
- 大学院生であっても大学院課程に出願できない大学

留学先大学における合理的配慮

障がい等を理由に、留学中に派遣先大学において特別な配慮を希望する場合は、出願前に余裕を持って国際課に相談すること。

健康診断

派遣留学候補者となった者は、健康診断書の提出が必要となる。原則として、毎年学内で実施される定期健康診断を受診すること。

なお、学内の定期健康診断を受診した場合は、保健センターから国際課への健康診断結果の提供に同意することにより、健康診断書の提出を省略できる。

その他

協定校によっては、交換留学生が登録できない科目があったり、所属する学部・学科によって異なる要件（より高い語学スコア等）が課されていたりする場合がある。また国籍や年齢等に関する要件が定められている場合があるため、必ずプログラムリストの備考欄および協定校 info を確認し出願すること。

留学費用・奨学金

派遣留学先大学の学費（Tuition Fee）

一部のプログラムを除き、派遣留学先大学の学費は免除される。ただし、【学費負担型】の場合、派遣留学先大学の学費を支払う必要がある。【ブリッジプログラム】の場合（予定どおり2セメスター目に学部の授業を履修する場合）、1セメスター目の語学プログラムの学費を支払う必要がある。

派遣留学先大学の学費以外の費用

派遣留学先大学の学費以外の費用は支払う必要がある。Application Fee、Registration Fee、Student Fee 等の諸費用、渡航費、保険料、ビザ費用、現地での生活費（寮費、食費）等は、すべて学生負担となる。費用については協定校 info を確認すること。

同志社大学の学費について

同志社大学への学費は、留学期間中も納入する必要がある。

費用に関するその他注意事項

- 留学中にかかる費用について、事前に父母（保証人）等とよく相談し、了解を得て出願すること。
- 派遣留学先大学への出願時やビザ申請時に、十分な資力があることを証明するための金融機

関の残高証明書等の提出が必要となる場合がある。留学費用は早めに準備しておくこと。

- 費用の改定、為替レート変動等により、留学費用が増減する場合がある。費用は十分余裕を持って準備すること。
- 留学がキャンセルとなった場合に既に生じているビザ手配費、寮費などの諸費用は各自の負担になることにあらかじめ留意しておくこと。

奨学金

派遣留学候補者は、派遣留学生対象の奨学金に応募することができる。海外留学ロードマップ、国際課 HP、協定校 info 等で確認すること。最新の情報は、学内選考に出願以降、出願者または候補者に周知される。なお、応募可能な奨学金や支給額等は変更される可能性がある。

履修計画・単位認定等

留学期間の同志社大学在学期間について

外国協定大学派遣留学生制度による留学は「在学留学」のため、留学期間は在学期間に含まれる。

休学・卒業・進学・退学

留学期間中は、同志社大学に在学している必要があり、休学、退学、卒業することはできない。また、留学期間中に、別の課程に進学することもできない（学部→大学院／修士課程→博士課程）。該当する可能性がある場合は、必ず出願前に国際課と所属学部・研究科窓口に相談すること。

派遣留学期間の前後の学期に休学を希望する場合も、必ず出願前に国際課と所属学部・研究科窓口に相談すること。

履修計画・卒業計画

留学期間中に、同志社大学の科目を履修することは原則できない。留学前後の履修計画について、必ず出願前に所属学部・研究科窓口に相談すること。留学時期等により標準修業年限（学部生の場合は4年間）で卒業できない場合がある。

継続履修（履修科目継続願）

本学の秋学期から留学に出発する場合、本学の春・秋連結科目または通年科目の春学期分を留学前に履修し、秋学期分を帰国後に履修することが認められる場合がある。希望する場合は、出願前に所属学部・研究科窓口

免許・資格課程

教職・図書館司書・博物館学芸員等の免許・資格の取得を予定している場合、出願前に免許資格課程センター事務室に履修計画について確認すること。

派遣留学先大学での履修

派遣留学先大学で履修できる科目・コースは、大学ごとに異なる。一般的に多くの協定校では、留学生に対して幅広い分野からの履修を認めている。科目の情報は、協定校 info および協定校 HP 等で必ず事前に確認すること。

なお、派遣年度に授業が開講されていない、履修人数に制限がある、派遣留学生は登録できない、履修条件（応用科目の受講には基礎科目の単位を修得済でなくてはならない等）が設定されている等の理由により、希望する科目を履修できない場合もある。

派遣留学先大学での学位取得・派遣留学先大学への編入

派遣留学において、派遣留学先大学での学位取得・派遣留学先大学への編入はできない。

単位認定

派遣留学先大学で修得した単位は、本学の学則または大学院学則に基づき単位認定を申請することができる。派遣留学先大学で修得した単位が、自動的に同志社大学の単位に互換されるわけではなく、学生自身で申請する必要がある。また、派遣留学先大学で、希望どおりに科目履修ができない可能性、単位修得が計画どおりに進まない可能性があるため、卒業・修了に必要な単位として認定を考えている場合は注意すること。単位認定は所属学部・研究科が行うため、必ず出願前に所属学部・研究科窓口にご相談すること。

卒業後の進路／就職活動

あらかじめ計画を立て、必要であれば、キャリアセンター等に相談しておくこと。就職活動が理由であっても、派遣留学の中止や変更等はいできないので、熟考したうえで出願すること。

出願方法

出願の概要

出願は「WEB 出願」と「書類出願」の両方を行うことで完了する。どちらか一方のみでは出願と認められない。出願期間については、本要項の P.1 を参照すること。出願後の変更（志望大学・志望順位、留学期間等）はできないため、事前に十分準備・確認し出願すること。

WEB 出願について

WEB 出願期間中に以下の “Go Global” ポートフォリオ上で実施する。



WEB 出願サイト

<https://sso.doshisha.ac.jp/cgi-bin/portal.cgi>

Web シングルサインオン > Go Global ポートフォリオ > 派遣留学プログラム > WEB 出願

- WEB 出願では、基本情報の入力（氏名、国籍、連絡先、推薦教員名、累積 GPA 等）、出願先大学の選択（第 1～最大第 7 希望ごとに留学先大学、留学期間、語学証明書に記載のスコアや有効期限等）、志望理由書の入力（第 1～最大第 7 希望の留学先大学ごと）、確認事項の入力等を行う。詳細は、P.33～WEB 出願マニュアルを必ず確認のうえ出願すること。
- 特に志望理由書は時間がかかる項目（希望留学先大学ごとに 2,000 字以内で作成）のため、事前に準備しておくこと。
- 確認事項欄では、履修計画・卒業/修了計画や単位認定等、派遣留学をするにあたり入念な計画を立て出願しているか確認する。事前に所属学部・研究科等の各所管窓口にて相談しておくこと。
- 締切前はアクセスが集中し、サイトにつながりにくくなるおそれがあるため余裕を持って提出すること。
- 一定時間を過ぎるとタイムアウトするためこまめに保存すること。
- WEB 出願入力中に締切時間を過ぎた場合、それ以降、画面遷移をすることができない。また、締切時間内に WEB 出願を完了しても、出願完了メールを受信していない場合、その出願は無効とみなされることがあるため留意すること。

書類出願について

以下の「提出書類一覧」に記載の全書類を順番に並べて、出願する学生本人が学生証を持参のうえ国際課に提出または郵送すること。

【提出書類一覧】

No.	提出書類	部数
1	願書（基本情報・出願情報・確認事項・志望理由書（第1希望～第7希望））	1
2	証明写真（願書に貼付） 縦 4cm×横 3cm	1
3	誓約書 ※保証人の署名が必要	1
4	推薦状	1
5	成績証明書（和文）	1
6	語学能力証明書（コピー） 学内語学能力試験結果表（受験した場合）	1
7	学生証コピー（郵送の場合のみ）	1

注意事項

- ※ 記入箇所は、必ずボールペン（消せないもの）で記入すること。
- ※ 出願書類はすべて片面印刷のA4サイズで準備すること（ホッチキス留め禁止）。
- ※ 証明写真は適当な大きさに加工し、裏面に学生ID・氏名を記入のうえ願書に貼付すること。
- ※ 一度提出された出願書類は返却しない。
- ※ 推薦状は推薦教員が所定用紙に記入・厳封のうえ、学生が受け取り、出願書類として国際課に提出すること。推薦教員の都合によりやむを得ない場合は、教員から直接国際課に提出することができる。書類出願時に学生自身が厳封済みの推薦状を提出できない場合、国際課に申し出ること。
- ※ 成績証明書は、事前に証明書発行サービスより申請し、提出日に間に合うよう発行すること。
- ※ 学内語学能力試験を受験した場合は、語学能力証明書に代えて学内語学能力試験結果表を提出すること。
- ※ 出願書類を郵送する場合、学生本人から提出されたことを証明するため、学生証のコピーを同封すること。また、レターパックや簡易書留など、発送記録が残る方法で出願期間内に必着するよう郵送すること。

願書（基本情報・出願情報・確認事項）

- WEB 出願で入力・作成した願書を印刷し、証明写真（裏面に氏名・学生 ID を記入/自撮写真等は不可）を 1 枚貼付する。
- 入力する基本情報は、DUET に登録している情報と合わせること。情報が異なる場合、国際課から確認の連絡をすることがある（自宅住所・自宅電話番号等は、願書には項目が表示されるが空欄のままでよい。入力は不要）。出願前に DUET での登録情報を最新のものに更新しておくこと。

志望理由書

- 使用言語：日本語
- 文字数：2,000 字以内
- 出願先大学へ留学を希望する理由や留学中の学修計画等について、以下の観点を入力すること。
 - ◇ 留学を希望する動機となっている背景・経験
 - ◇ 留学を将来的にどう活かすのか（帰国後の学修計画、卒業後の進路）
 - ◇ 出願先大学を希望する理由（大学の特徴・他大学との比較）
 - ◇ 留学中の目標や学びたいこと
 - ◇ 留学中に予想される困難やその対処について
 - ◇ 自分自身の長所・短所
- 志望理由書は、WEB 出願時に志望校ごとに入力する。
- 志望理由書は、作成に時間を要するため WEB 出願開始前に事前に作成しておくこと。（Word やテキストエディタ等で事前に作成しておき、WEB 出願時に貼付けすることを推奨する）。
- “Go Global”ポートフォリオでカウントされる字数と Word やテキストエディタ等でカウントされる字数が異なる場合がある。“Go Global”ポートフォリオでカウントされる字数制限以内になるよう調整すること。
- 他人の出願書類の流用や剽窃があった場合、出願は取り消される。
- KCJS 加盟校枠内の大学で併願する場合、KCJS 加盟校枠の併願する大学すべてをまとめて 1 つの志望理由書を作成すること。

誓約書

- 国際課 HP（P.5 参照）より、出願年度を確認のうえダウンロードすること。
- 志望校数にかかわらず、1 部のみ提出すること。
- 署名する前に、必ず誓約書の内容を確認すること。
- 署名された原本を提出すること（コピー不可）。
- 保証人は、原則として父母となる。父母が遠方や海外に居住する場合はあらかじめ郵送で取り寄せておくこと。郵送に時間がかかることを理由に提出が遅れることは認められない。
- 保証人が海外在住等の理由で誓約書の提出が出願期間内に間に合わない場合は、事前に国際課へ相談のうえ、スキャンコピーでの仮提出を認める。ただし、後日必ず保証人・本人の手書き原本を提出すること。

推薦状

- 国際課 HP (P.5 参照) より、出願年度・日程を確認のうえダウンロードすること。
- 志望校数にかかわらず、1 部のみ提出すること。
- 推薦者は、所属学部・研究科の専任教員であること。指導教員や面識のある教員に依頼することが望ましい。低年次生などで指導教員がいない場合は、大学 HP の研究者データベースから教員を検索し依頼するか、見つからない場合は所属学部・研究科窓口相談すること。
- 推薦状は参考資料であり、評価の対象にはならない。
- 推薦状は推薦教員が所定用紙に記入・厳封のうえ、学生が受け取り、出願書類として国際課に提出すること。推薦教員の都合によりやむを得ない場合は、教員から直接国際課に提出することができる。書類出願時に学生自身が厳封済みの推薦状を提出できない場合、国際課に申し出ること。推薦教員には事前に相談のうえ、余裕を持って依頼すること。
- 派遣留学の志望理由や成績通知書、語学能力証明書等を準備のうえ、推薦教員に依頼することが望ましい。

成績証明書（和文）

事前に証明書発行サービスより申請し、提出日に間に合うよう発行すること。DUET から出力できる成績通知書は不可。証明書には、以下の成績が含まれること。

A 日程	前年度秋学期までの成績が含まれた証明書
B 日程	今年度春学期までの成績が含まれた証明書

- GPA の記載がない・成績証明書が発行できない場合は、事前に国際課に相談すること。
- 学内選考は、学生が「書類出願期間中」に提出した成績証明書に基づいて行われる。

語学能力証明書、学内語学能力試験結果表

【英語、初修外国語共通】

- WEB 出願時および書類出願時に有効期限内の語学スコアが必要。出願日程を確認し、時間に余裕を持って受験すること。特に海外で語学試験を受験した場合、スコアの開示が通常より遅くなる場合がある。
- WEB 出願ではスコアの入力が必要。書類出願ではスコア（証明書）のコピーの提出が必要。WEB 出願および書類出願時に、受験日より 2 年以内の有効なスコアを準備すること。学内選考後、協定校の本出願時および留学開始前までに有効なスコアを保持していない場合は、必ず再受験し有効なスコアを取得すること。なお、再受験のスコアが出願先大学の条件を満たさない場合、出願先大学から入学許可が下りない可能性があるため留意すること。
- 原則として証明書のコピーを提出する必要があるが、書類出願期間までに外部語学能力証明書が手元に届かない場合に限り、オンラインのスコア確認画面コピーで、受験日、受験者氏名、スコア（サブスコアも含む）が確認できるものを証明書の代用として受け付ける。ただし、証明書が届き次第、コピーを国際課に提出すること。
- 証明書のコピーはすべてのページ（裏面に記載がある場合は裏面も含めて）を提出すること。原本が A4 サイズ以外の場合であっても、必ず A4 サイズで印刷すること。

【英語による出願の場合】

- 英語による出願者は、語学能力証明書を必ず提出すること。
- TOEFL ITP®は、本学で受験したスコアシートのみ提出可能。他大学や高校で受験したものは受付不可。
- 英語による出願で複数の大学に併願する場合、大学ごとに異なる証明書を提出することが可能（例：第1希望 TOEFL ITP® 550、第2希望 IELTS™ 5.5 等）。
- TOEFL iBT®は「Test Date スコア」で出願先の語学要件を満たすことが必要。「MyBest®スコア」での出願は認めない。また TOEFL iBT® Home Edition のスコアは受付不可。
- IELTS™ スコアはアカデミック・モジュールのみ受け付ける（ジェネラル・モジュールのスコアは受け付けない）。また IELTS Online や IELTS One Skill Retake のスコアは受付不可。

【初修外国語による出願の場合】

- 出願する言語により、学内語学能力試験の受験が必須になる場合があるため、必ず所定ページ（P.29～）を確認すること。学内語学能力試験を受験する場合は、P.1 に記載の申請期間内に下記 Forms(WEB リンク)から申請すること。申請期間を超えての受験は認められない。

※学内語学能力試験 受験申請用 Forms

【A 日程】 <https://forms.office.com/r/vCcckhjtLM>



A 日程用 Forms

【B 日程】 <https://forms.office.com/r/kbBGzq9BUx>



B 日程用 Forms

- 学内語学能力試験を受験した場合は、学内語学能力試験結果表を提出すること。
- 過去の年度に受験した学内語学能力試験の結果を使用することは出来ない。必ず対象となる年度の試験を受験すること。

※ TOEFL®, TOEFL ITP®, TOEFL iBT®はエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。

選考方法・選考スケジュール

派遣留学候補者の選考方法

教務〔国際〕主任会議で定められた選考基準に基づき選考する。派遣留学候補者選考には、以下 3 つの測定値（それぞれ基準点 60 点、満点 100 点）の合計（満点 300 点）を最終評価値として用いる。測定値の基準点（60 点）は派遣留学生として推薦可能な最低のレベルを示す数値であり、いずれかの測定値が基準点未満（60 点未満）の場合は、出願不可もしくは不合格とする。また、協定校の基準を満たさなかった場合も、出願不可もしくは不合格となる。

選考は、大学ごとにまず第 1 希望の出願者のみで選考し、最終評価値の高い出願者から順に派遣留学候補者として選出する。次に、派遣枠が空いている場合、同様に第 2 希望の出願者のみで選考する。さらに派遣枠が空いている場合、第 3 希望以降も同様の選考方法で選考する。

● 各評価項目における配点

【派遣留学候補者選考の測定値（合計 300 点）】

- (1) GPA 測定値 (100 点)
- (2) 語学能力測定値 (100 点)
- (3) 面接評価測定値 (100 点)

● 各評価項目における最低基準

GPA、語学力は下表の基準を満たしていない場合、出願不可。また別途、派遣留学先大学が定める出願要件を満たしている必要がある。面接について、下表の基準点未満だった場合は不合格となる。

GPA	語学力	面接
[学部生] 2.00 / 4.00 [大学院生] 2.50 / 4.50	[英語] TOEFL ITP® 500 or TOEFL iBT® (旧) 60・(新) 4 or IELTS™ 5.5 [英語以外] CEFR A2	60 / 100

GPA 測定値（満点 100 点）

【学部生（GPA の満点が 4.0）の場合】GPA 測定値 = $20 \times \text{GPA} + 20$ （基準点 60 点 = GPA 2.0）

【大学院生（GPA の満点が 4.5）の場合】GPA 測定値 = $20 \times \text{GPA} + 10$ （基準点 60 点 = GPA 2.5）

※ 出願時の学籍において GPA を算出することができない場合、現在の学籍の前の学籍における GPA を用いる等の措置が取られる場合がある（例：大学院在籍者で GPA の成績がない場合に学部在籍時の成績を用いる）。

語学能力測定値（満点 100 点）

外部語学能力試験または学内語学能力試験の評価を語学能力測定値に換算する。詳細は語学スコア換算表（P.27～）を参照すること（換算表は CEFR の基準をもとに作成）。

面接評価測定値（満点 100 点）

所属学部・研究科での面接における評価を面接評価測定値とする。所属学部・研究科での面接は、日本語で行われる（ILA など英語で学位が取得できる場合を除く）。協定校ごとに測定値がつくのではなく、面接全体で総合的に判断される。面接日時、場所、方法は、書類出願後に、所属学部・研究科窓口より案内される（連絡方法は学部・研究科により異なる）。

【面接の評価項目（評価のポイント）】

- (1) 留学の動機
- (2) 留学における履修計画と本学における教育課程との整合性
- (3) 出願先大学（国・地域）の予備知識
- (4) 留学生活への適応力（社会性・積極性等）

所属学部・研究科による派遣留学への推薦可否の判断

出願者の所属する学部・研究科にて、面接結果、GPA、語学能力等を総合的に判断し、派遣留学への推薦可否について判断する。派遣留学候補者としての適性を著しく欠く出願者には、所属の学部・研究科にて「派遣留学への推薦不可」の判断を行う。「派遣留学への推薦不可」と判断された出願者は、その後の選考過程からは除き、派遣留学候補者とはしない。

選考スケジュール（スケジュールの詳細は、国際課HPにて周知する）

学内語学能力試験	対象者のみ
↓（約 2～3 週間後）↓	
WEB 出願・書類出願締切	出願者全員対象
↓（約 1～3 週間後）↓	
所属学部・研究科面接	出願者全員対象（出願取消しとなった者を除く）
↓（約 3～4 週間後）↓	
候補者発表	出願者全員対象（出願取消しとなった者を除く）

学内語学能力試験（英語以外の言語による出願者）

学内語学能力試験を受ける場合、試験日より約 1～3 週間前に設定される学内語学能力試験受験申請受付期間に、Forms（P.1 または P.21 参照）を通じて受験手続を行うこと。定められた期間に申し出を行わなかった場合、いかなる理由であっても学内語学能力試験を受験することはできない。なお、フランス語については、学内語学能力試験の受験にあたり外部語学能力試験のスコア提出が必須となるため留意すること。

また、学内語学能力試験の受験が必須となる言語において、受験しない場合は、当該募集言語での出願資格を失う。詳細は P.29～を参照すること。試験の日時・場所、学内語学能力試験結果表返

却等の詳細は、受験申請期間までに国際課HPにて周知する。

一度の出願で異なる言語（例：第一希望 フランス語出願、第二希望 スペイン語出願）で出願を希望する場合、事前に国際課に相談すること。国際課窓口またはメールにおいて、募集年度の5月以降、過去1年分の学内語学能力試験の過去問題を配布する。受取りを希望する場合は国際課窓口またはメールにて申し出ること。

国際センター面接（対象者のみ）

現地の治安状況や本学からの派遣状況等を考慮し、国際センターで面接を実施する場合がある。原則として、外務省発出の危険レベルまたは感染症危険レベルⅠの国・地域にある派遣留学先が対象となり、対象校はプログラムリストの備考欄に明記されている。面接の日時・場所等の詳細は、対象者に対してのみ別途国際課から連絡を行う。対象者が国際センター面接を受けなかった場合は出願資格を失う。国際センター面接の結果は、所属学部・研究科による面接の際に用いられ、推薦可否の判断資料となる。

なお対象者は、国際センター面接にあたり、以下の観点を参考に準備をすること。

- ◇ 派遣留学先大学のある地域の治安状況
- ◇ 現地で犯罪等に巻き込まれないための対策
- ◇ 万一、被害にあった場合の対応
- ◇ 危険レベルまたは感染症危険レベルが発出されている国・地域での留学生活全般

候補者発表

“Go Global” ポートフォリオ上で合否を発表する。

追加候補者の選定

第7希望まで全て記入した学生が不合格となった際、出願要件を満たしている他の協定校の派遣枠が空いており、当該大学への出願期間までに十分な余裕がある場合は、出願者に対して留学希望を聞き取った後、WEB出願・書類出願で記入した協定校以外の追加候補者とすることがある。

追加候補者の選考時の測定値（合計300点）については、本選考での測定値を使用するため、語学スコアが出願時から向上した場合でも差し替えをすることはできない。また、GPA測定値・語学能力測定値・面接評価測定値のうち、ひとつでも基準点未満（60点未満）である場合は、追加候補の対象者とはならない。

追加候補の対象者には別途、申請方法について国際課より連絡する。なお、対象者であっても出願したい協定校の枠がない場合は、追加候補者としての再出願を辞退することもできる。

学内選考合格後（候補者決定後）

候補者決定後の注意

候補者決定後の諸手続きは、国際課のサポートを受けつつ学生自身が自己責任のもと進める必要がある。派遣留学候補者に選ばれた後でも、学業不振、提出書類の締切を守らない、必要な手続きを行わない、説明会やオリエンテーションに出席しない等、本学の代表としてふさわしくないと判断された場合、出発前・渡航後を問わず留学中止を勧告することがある。とくに、GPA、語学スコアについて、学内候補者決定後に派遣留学先大学の要件を下回った場合は、入学許可が下りない可能性があるため、学内選考通過後も GPA および語学スコアの維持・向上に努めること。

候補者説明会・出発前危機管理オリエンテーション

学内選考合格後に行われる候補者説明会、出発前危機管理オリエンテーションには必ず出席する必要がある。候補者説明会、出発前危機管理オリエンテーションに欠席した学生は派遣留学生として認められないことがある。

【候補者説明会】

各日程の候補者発表後1週間以内を目途に実施する。詳細は出願前に国際課 HP で確認すること。

【出発前危機管理オリエンテーション】

2～4月に留学期間開始の派遣留学生：1月中旬から下旬の日曜日に実施

8～10月に留学期間開始の派遣留学生：6月下旬から7月中旬の日曜日に実施

派遣留学先大学への正式出願（本出願）

学内選考に合格した後、派遣留学先大学に正式に出願し、審査を受ける必要がある。本学の派遣留学候補者（学内選考合格者）を受け入れるか否かの最終決定は、派遣留学先大学が行う。出願後、学内候補生になったとしても協定校の都合により受入を断られた場合は、留学ができなくなる可能性がある。

査証（ビザ）・住居の手配

学内選考に合格後、留学に必要な査証（ビザ）取得や留学先の住居に関する手続きは、自己責任で行うこと。一般的には本出願後にそれらの手続きを進めることになる。出発までに査証（ビザ）が得られない場合、留学開始時期が遅れたり、留学ができなくなったりする。

派遣留学・国際交流の活性化への協力

派遣留学候補者・派遣留学生は、本学の派遣留学・国際交流の活性化に、積極的に協力することが求められる。後輩への情報提供、同志社大学の広報への協力（写真の提供、広報誌の記事執筆）、留学フェアや帰国報告会、各種ガイダンスやオープンキャンパス等への参加の要請があった場合には協力すること。

書類・報告書の提出、本学からの指示・指導

派遣留学候補者・派遣留学生は、本学が指示する書類や報告書の提出が必要となる。その他、本学からの指示・指導に従う必要がある。

留学後の語学スコア提出

派遣留学から帰国後、原則として半年以内に、留学後に受験した語学試験スコアの提出が求められる。

【英語による派遣留学の場合】

TOEIC®、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®、IELTS™のいずれかのスコア

【初修外国語による派遣留学の場合】

原則として、語学スコア換算表（P.29～）記載のいずれかの外部語学試験スコア

（希望する場合は、TOEIC®、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®、IELTS™のいずれかのスコアでも可）

海外旅行保険

派遣留学生は、同志社大学が指定する海外旅行保険（出発から帰国までの全期間がカバーされていること）に自己負担で加入しなければならない。この保険は、同志社大学と保険会社が包括契約を締結し、特別価格で海外旅行保険に加入できるものである。

なお、派遣留学先によっては、留学先の国・大学が指定する健康保険や医療保険への加入が義務付けられる場合がある。そのような場合、同志社大学指定の海外旅行保険の証券等を提示することで、派遣留学先の保険が免除される場合があるが、免除されない場合は同志社大学で指定する海外旅行保険に加えて、派遣留学先の国・大学が指定する保険にも加入しなければならない。

派遣留学生は同志社大学が指定する保険には加入しなければならないが、特別な事情により他の保険を希望する場合は事前に国際課に相談すること。その場合、出発から帰国までの全期間について以下の内容が補償される保険でなければならない。

- 治療・救援費用：無制限（治療のみではなく、救援費用も無制限で補償されること）
- 個人賠償責任：1億円

同志社大学が指定する海外旅行保険については、学内候補者となった後に実施される「出発前危機管理オリエンテーション」で案内する。ただし、派遣留学先大学へ事前に保険証券を提出する必要がある場合やビザの取得に必要である等の事情により、出発前危機管理オリエンテーション開催前に保険の加入を希望する場合は、国際課に相談すること。

危機管理

派遣留学先大学が所在する国・地域の治安状況によっては、本学が派遣中止または帰国勧告等を決定することがある。これらの事態等が生じた場合は、本学の指示に速やかに従うこと。キャンセル費用、帰国費用等は、自己負担となる。外務省海外安全 HP で出発前に渡航先の安全情報を確認しておくこと。

語学スコア換算表

【英語】

語学能力測定値	TOEFL iBT® (旧)
100	100 以上
99	99
98	98
97	97
96	96
95	95
94	94
93	93
92	92
91	91
90	90
89	89
88	88
87	87
86	86
85	85
84	84
83	83
82	82
81	81
80	80
79	79
78	78
77	77
76	76
75	75
74	74
73	73
72	72
71	71
70	70
69	69

語学能力測定値	TOEFL iBT® (旧)
68	68
67	67
66	66
65	65
64	64
63	63
62	62
61	61
60	60

語学能力測定値	TOEFL iBT® (新)
100	5.5 以上
95	5
86	4.5
72	4

語学能力測定値	TOEFL ITP®
100	630 以上
95	620-627
90	600-617
84	580-597
78	560-577
72	543-557
66	523-540
60	500-520

語学能力測定値	IELTS™
100	7.5 以上
95	7
88	6.5
80	6
72	5.5

【ドイツ語】

CEFR (GER)	語学能力測定値 (学内語学能力試験)	ゲーテドイツ語検定試験	独検
B2 以上	100	Goethe-Zertifikat B2 以上	1 級
B1	90	Goethe-Zertifikat B1	準 1 級
	80		2 級
A2	70	Goethe-Zertifikat A2	3 級
	60		4 級

- ※ 出願先協定校の条件を満たしている上記の外部語学能力試験のスコアを提出する場合、学内語学能力試験は、「筆記試験」、「面接試験」とともに免除される。ただし学内語学能力試験の受験を希望する場合、受験することができる。
- ※ 外部語学能力試験は受験回数が限られているため、Goethe-Zertifikat、独検等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

【フランス語】

CEFR	語学能力測定値 (学内語学能力試験)	DEL F、DAL F、TCF (TCF S0 も含む)
B2 以上	90～100	B2 以上
B1	80～89	B1
A2	60～79	A2

- ※ フランス語では必ず、外部語学能力試験および学内語学能力試験（面接試験）の両方の受験が必要。
どちらか一方では、フランス語での出願は認められない。
- ※ 出願協定校の条件を満たしている上記の外部語学能力試験（DEL F、DAL F もしくは TCF (TCF S0 も含む)）の証明書を提出すること。学内語学能力試験では、筆記試験は行わず面接試験のみを行う。
- ※ 外部語学能力試験結果と学内語学能力試験（面接）を総合的に評価し、語学能力測定値が決定される。
- ※ 外部語学能力試験の結果が無い場合、学内語学能力試験の受験は認められない。
- ※ 外部語学能力試験は受験回数が限られているため、DEL F、DAL F、TCF 等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

【中国語】

CEFR	語学能力測定値 (学内語学能力試験)	HSK	中検
C2	100	6 級	準 1 級
C1	90		2 級
	85	5 級	
B2	80		3 級
	75	4 級	
B1	70	3 級	4 級
A2	60	2 級	準 4 級

- ※ 出願先協定校の条件を満たしている上記の外部語学能力試験のスコアを提出する場合、学内語学能力試験の「筆記試験」は免除される。その場合も必ず「面接試験」を受験する必要がある。
- ※ 外部語学能力試験のスコアを提出する場合、学内語学能力試験の「筆記試験」を受験することはできない。外部語学能力試験のスコアと面接結果を総合的に評価し、語学能力測定値が決定される。
- ※ 外部語学能力試験は受験回数が限られているため、HSK、中検等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

【スペイン語】

CEFR	語学能力測定値 (学内語学能力試験)	DELE	西検
B2 以上	100	B2 以上	2 級以上
B1	90		3 級
	80	B1	
A2	70		4 級
	60	A2	

- ※ 出願先協定校の条件を満たしている上記の外部語学能力試験のスコアを提出する場合、学内語学能力試験の「筆記試験」は免除される。その場合も必ず「面接試験」を受験する必要がある。
- ※ 外部語学能力試験のスコアを提出する場合、学内語学能力試験の「筆記試験」を受験することはできない。外部語学能力試験のスコアと面接結果を総合的に評価し、語学能力測定値が決定される。
- ※ 外部語学能力試験は受験回数が限られているため、DELE、西検等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

【ロシア語】

CEFR	語学能力測定値 (学内語学能力試験)
B2 以上	100
B1	80
A2	60

※ ロシア語では外部語学能力試験の結果をもって学内語学能力試験に代えることはしない（必ず、学内語学能力試験を受験する必要がある）。

【コリア語】

CEFR	語学能力測定値	ハングル能力 検定試験	韓国語能力試験 (TOPIK)
B2 以上	100	準 2 以上	4 級以上
B1	80	3 級	3 級
A2	60	4 級	2 級

※コリア語では学内語学能力試験を実施しない（必ず、外部語学能力試験を受験する必要がある）。

※外部語学能力試験は受験回数が限られているため、ハングル能力検定試験、TOPIK 等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

【イタリア語】

CEFR	語学能力測定値	CILS	CELI	PLIDA
B2 以上	100	B2	B2 CELI3	B2
B1	80	B1	B1 CELI2	B1
A2	60	A2	A2 CELI1	A2

※ イタリア語では学内語学能力試験を実施しない（必ず、外部語学能力試験を受験する必要がある）。

※ 外部語学能力試験は受験回数が限られているため、CILS, CELI, PLIDA 等、実施試験の公式ウェブサイト等を確認のうえ、計画的に受験すること。

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解する	聞く力	はっきりと、ゆっくりと話してもらえれば、聞きなれた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難なく理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログ等の中の良く知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテキストなら理解できる。簡単な私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	複雑なテキストを理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキスト等、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話す	会話力	必要なことや身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	短い社交的なやり取りをすることができる。	日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備して会話がでる。	身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また、知っている人たちについて簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語ることができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめることができる。	論理的な会話で聞き手に要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書く	書く力	お祝いのメッセージ等、短い簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。私信や経験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。

トップページ>派遣留学プログラム



1



2

WEB 出願マニュアル



1. 基本情報：氏名、国籍、連絡先等入力

Web出願



基本情報 auto fill

名前（学生証と同じように入力のこと）			
フリガナ	姓 ドウシシャ	名 タロウ	マドルネーム
	姓はカタカナで入力		
氏名（漢字）	姓 西村	名 太郎	マドルネーム
	姓を正しく漢字で入力してください。「姓」と「名」の間に「氏」や「君」などの敬称は入力しないでください。		
ローマ字（パスポート表記：大文字）	姓 DOSHISHA	名 TARO	マドルネーム
国籍			
日本国籍を持っている	☒ Yes ☐ No		
日本の永住権を持っている	☐ Yes ☒ No		
	日本国籍を持っていない（帰化はOK）		

パスポート表記に
合わせる

5

1. 基本情報：累積GPA, 推薦者名等入力

電話番号	000-1234-5678	
	電話番号は（ハイフン）で区切ってください。例 000-1234-5678	
PCメールアドレス（大学）	j-ksai@mail.doshisha.ac.jp	
	j-ksai@mail.doshisha.ac.jp	（再入力）
	コピー＆ペーストは不可	
PCメールアドレス（個人）	hanaka.nishima@gmail.com	
	hanaka.nishima@gmail.com	（再入力）
	携帯メールアドレスは不可	
	コピー＆ペーストは不可	
その他		
累積GPA	3.12 / 4.0	
	（提出する成績証明書に記載のものを入力すること）	
推薦状を依頼した先生の氏名（フルネーム）	姓 新島	名 花子
	フルネームを入力すること	

次へ

WEB出願までに推薦教員
に依頼しておくこと！

6

2. 出願情報入力：第1希望～（最大）第7希望まで入力

Web出願



出願情報 [info fill](#)

GPA	
実績GPA	2.12 / 4.00
第1希望	
NICIS基盤校へ転属する	はい/え
出願先大学校名	テスト大学
大学院課程に志願を希望する（出願時に大学院に在籍する場合のみ）	
	☐ Yes
希望する留学期間 第1希望	1年 2024.8 - 2025.7
希望する留学期間 第2希望（ある場合のみ入力）	1セメスター 2024.8 - 2025.1

同一希望内で留学期間を最大で2つまで記入可能
詳細はP.11参照

7

2. 出願情報入力：語学スコア・受験日の入力（英語）

出願言語	英語
提出するスコア（有効期限内のもの）	IELTS
TOEFL ITP スコア	Total
	Listening Comprehension Structure & Written Expression
	Reading Comprehension
TOEFL iBT スコア	Total
	"My Best Score" shall not be accepted.
	Reading Listening Speaking Writing
IELTS スコア	Total 6.5
	Listening 6.5 Reading 7.0 Writing 5.5 Speaking 6.0
英語以外の語学能力試験（級・レベル）	
受験日	2024/01/25

書類出願で提出するスコアシート
と同一情報にすること！

8

2. 出願情報入力：語学レベル・受験日の入力（初修外国語）

第2希望

KCJS加盟校へ出願する

出願先協定校名

大学院課程に出願を希望する（出願時に大学院に在籍する場合のみ） ☐ Yes

希望する留学期間 第1希望

希望する留学期間 第2希望（ある場合のみ入力）

出願言語

提出するスコア（有効期限内のもの）

英語以外の語学能力試験（級・レベル）

受験日

書類出願で提出するスコアシート
と同一情報にすること！

9

3. 確認事項：該当する項目にチェックをする

Web出願

1 2 3 4 5
基本情報 出願情報 確認事項 添付書類 出願料金

▶ 確認事項 auto_fill

以下、入力内容は出願の判断材料にはなりません（合否に影響しません）

所属	
入学年次・学期	2023 年度春学期
課程	学部生
学部 / 学科（学部生のみ）	文学部 英文学科
研究科 / 専攻（大学院生のみ）	

10

3. 確認事項：該当する項目にチェックをする

免許・資格の課程	
28) 卒業・修了時に要員免許、学芸員資格、司書員権などを取得予定	☐ Yes
29) 履修・実習日程等について、免許資格課程センターに確認済み	☐ Yes
履修計画・卒業/修了計画	
28) 留学前後の履修計画・卒業/修了計画について、学部・研究科に確認した	☒ Yes ・卒業・修了要件（必要単位取得・在学期間）を満たすと同時に卒業・修了と見なす。 ・ゼミ同時履修不可、退学予定などのため、早期に留学しても4年で卒業できない場合があります。 ・必ず、チェックをする前に所属学部・研究科に確認してください。
単位認定	
31) 単位認定を申請する予定である	☒ Yes
32) 単位認定について、所属学部・研究科に相談済	☒ Yes 単位認定をしない、予定通りに卒業・修了できない場合は必ず所属学部・研究科に相談すること。
33) 履修予定の履修が取れない可能性、単位認定されない可能性、単位認定が卒業・修了までに間に合わない可能性があることを理解している	☒ Yes

履修計画・卒業/修了計画
単位認定
出願前に所属学部・研究科窓口への確認が必要

11

3. 確認事項：該当する項目にチェックをする

連絡先提供に関する同意	
合併した組合、①氏名 ②同窓社での所属 ③同窓社のメールアドレスを以下の欄に開示することに同意する	
44) 過去に同一の大学へ留学した経験のある留学プログラム参加学生	☒ Yes
45) 留学先大学から同窓社大学へ派遣されている留学学生	☒ Yes 帰国時に「留学先との交際を希望する方のみ」チェックすること。
46) 同じ年輩に同一の大学へ留学予定の留学プログラム参加学生	☒ Yes
47) 同じ年輩に同一の国・地域へ留学予定の留学プログラム参加学生	☒ Yes
48) 次年度以降に、同一の大学への留学プログラム候補者に決定した学生	☒ Yes
49) 同窓社大学キャリア支援課	☒ Yes
確認	
このページの質問をすべて確認した	☒ Yes

連絡先提供に関する同意
同じ留学先国・大学に行く学生等と知り合いになりたい場合はチェックすること

12

4. 誓約書：誓約内容を確認しチェック

Web出願



》 誓約書 auto fill

誓約書

☒ 保護者様もサイン/スタンプ/プログラム参加にあり、別添紙の誓約書を出さなければならないことを理解しています。

戻る

次へ

書類出願時に誓約書を提出
詳細はP. 19参照

13

5. 志望理由書：第1希望～（最大）第7希望まで「協定校ごと」に作成

Web出願



》 志望理由書 auto fill

第1希望

出願先協定校名 アスト大学

上記大学への留学を希望する理由。留学中の学習計画などを以下の観点を参考にして400字以内に入力してください。

- ・これまでの人前で、（特に上記大学への）留学を希望する動機と目的について説明・説明
- ・（上記大学への）留学を希望する理由（卒業後の学習計画、就職先の選定・キャリアなど）
- ・他の大学ではなく、上記大学でなければいけない理由（上記大学の特色・他大学との比較）
- ・（上記大学への）留学中に達成したい目標。
- ・上記大学で学びたいこと（なぜ学びたいのか、関連大学で学んだこととの関連、留学後にどう活かすのか）
- ・留学中に予定される授業と、その履修への対応。
- ・留学費用の負担・負担

詳細はP. 19参照

14

5. 志望理由書：第1希望～（最大）第7希望まで「協定校ごと」に作成

上記大学への留学を希望する理由、留学中の学習計画などを以下の欄内を参考にして内容に記入してください。

- ・自分までの人生で、（特に上記大学への）留学を希望する動機としたい理由・経験
- ・（上記大学への）留学を希望することの目的（卒業後の学習計画、卒業後の進路・キャリア等）
- ・他の大学でもあり、上記大学でなければならぬ理由（授業内容・上記大学の特色・他大学との比較）
- ・（上記大学への）留学中に達成したい目標
- ・上記大学で学びたいこと（学びたい科目、両国語大学で学ぶこととの関係、留学中にどう過ごすかなど）
- ・留学中に予定されている活動と、他の国語への関係
- ・留学費用の調達・保障

1000 characters | 1 words
平均・目安目安 目安：2000字

第1希望

こまめに一時保存をすること

一時保存

字数制限内に収まっているかを確認

15

WEB出願 出願内容確認ページ

同志社大学 国際課
Doshisha University Office of International Affairs

ログアウト

Web出願 出願内容確認ページ

PDFをダウンロードし、願書内容を確認すること

manaba ID: student17 氏名: サンプル学生17

*確認用・願書PDFダウンロード

※ まだWeb出願は済んでいません
※ 出願機は修正できません

内容を修正 出願する

「出願する」を押下

16

WEB出願 出願後のページ

Web出願 出願後のページ

manaba ID: student17

氏名: サンプル学生 17

※注意事項※

- ※ Web出願は完了しました。出願を完了するには、書類提出が必要です。
- ※ 願書PDFをダウンロードし、書類提出期限にその他の書類と一緒に国際課へ提出してください。書類提出については募集要項(特に書類提出について記載されたページ)を参照し、備考のとおり行ってください。
- ※ 願書PDFはGlobeポートフォリオのコレクションにも保存されています。
- ※ Web出願の入力内容に修正がある場合は国際課に連絡してください。
- ※ 窓口受取の書類書類は全てA4サイズ・片面印刷にしてください。ホッチキス止めは禁止です。
- ※ 今後の進考日程について、必ず国際課HPを確認してください。
- ※ Web出願時に入力したe-mailアドレス(大学・個人)に連絡をしますので必ず定期的にメールボックスを確認してください。

願書PDFダウンロード

!! すべての資料は片面印刷の上、提出 !!

閉じる

書類出願時にダウンロード印刷のうえ提出

国際課から修正指示があった場合の修正後願書の確認方法は次頁参照

17

WEB出願提出後、最新の願書を確認する方法

2024-01-25 (Thu) | サンプル学生 17 | 設定 | ログアウト | English

マイポートフォリオ | マイコース | マイコミュニケーション

プロフィール | グローバル・コミュニケーション学部 9年

マイポートフォリオ (公開)

ポートフォリオ一括印刷 | コレクション管理

新しいコレクションが追加されています。

分類	コレクションタイトル	添付ファイル	更新日時	コメント数
派遣留学 (大学2)	24-25AdditlB Application	1	2024-01-25 09:10	0
	20-21A Application	1	2021-05-08 10:20	0
	21-22A Application			
派遣留学 (学部・研				

コレクションタイトルから最新版願書のダウンロードが可能

18

MEMO

